

2014年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	不静定構造力学Ⅱ						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)/選択科目(建築コース)/選択科目(デザインコース)						
担当者	津田和明						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「たわみ角法」を用いて簡単な不静定ラーメンの応力算定ができる。(C1)</li> <li>・ラーメン架構の応力分布にみられる特徴を理解できる。(C1)</li> <li>・保有水平耐力の算定ができる。(C1)</li> </ul>						
日程と内容	9/16 導入講義 9/30 不静定ラーメンの応力算定-1 10/7 不静定ラーメンの応力算定-2 10/14 不静定ラーメンの応力算定-3 10/21 不静定ラーメンの応力算定-4 10/28 不静定ラーメンの応力算定-5 11/4 不静定ラーメンの応力算定-6 11/11 ラーメン架構の応力分布-1 11/18 ラーメン架構の応力分布-2 11/25 ラーメン架構の応力分布-3 12/2 保有耐力の算定-1 12/9 保有耐力の算定-2 12/16 保有耐力の算定-3 1/13 保有耐力の算定-4 1/20 定期試験 1/29 まとめ						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験	0%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	10%	計	100%			
	演習	20%					
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「たわみ角法」を用いて簡単な不静定ラーメンの応力算定ができる。(C1):ほぼ達成できた。</li> <li>・ラーメン架構の応力分布にみられる特徴を理解できる。(C1):ほぼ達成できた。</li> <li>・保有水平耐力の算定ができる。(C1):ほぼ達成できた。</li> </ul>						
反省点	建築コースの学生にとっては選択科目であり、履修生徒が少ない。工学的学問である構造力学への関心を高める必要がある。履修した学生では、再履修以外は秀と優であったが、授業資料を配らずにノートを取らせるスタイルはきついとの声があった。このようなまじめな学生を対象と考えれば、授業資料を配布する方が効果的なようである。						
来年度の計画	来年度は、授業資料を配布して授業を進める。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価8.6点であったが、授業資料なしでノートを全て取るのは、きついとの声があった。来年度より、授業資料を配布することとする。						
履修登録者数	23名	定期試験 受験者数	8名	合格者数	8名	合格率	100%